

2025 年 9 月

ジェイズ・コミュニケーション株式会社

「金融機関のセキュリティ移行」に関する実態調査を実施

VDI 依存からの脱却迫られる金融業界 セキュアブラウザ技術が次世代アクセス戦略の鍵に
VDI 利用者の約 8 割が、セキュアブラウザ技術の導入に「関心あり」

ジェイズ・コミュニケーション株式会社（以下 ジェイズ・コミュニケーション、本社：東京都中央区新川、代表取締役社長：愛須 康之）は、金融機関の情報システム・セキュリティ部門責任者・担当者を対象に、金融機関のセキュリティ移行に関する実態調査を実施しました。

本調査では、従来の VDI（仮想デスクトップ）環境における操作性やコスト、セキュリティ面での課題が浮き彫りとなり、次世代のセキュリティ戦略が求められている実態が明らかになりました。特に、VDI 環境利用者の約 8 割がセキュアブラウザ技術の導入に関心ありという結果からも、セキュアブラウザは今後のセキュリティ戦略における重要な選択肢として注目されています。

【調査結果サマリ】

- ・VMware 買収とライセンス改定を受けて、約 4 割が代替ソリューションへの移行を「進行中/検討中」、約 4 割がゼロトラストセキュリティモデルを「導入済」と回答。
- ・VDI 環境を利用しておりセキュアブラウザ技術を知っている人の約 8 割が、VDI の代替や補完手段としてセキュアブラウザ技術の導入に「関心あり」と回答。
- ・今後 2 年間で優先的に投資したいセキュリティ対策として「クラウドセキュリティの強化」が 46.1%で最多。

全調査結果については、以下のページよりダウンロードください。

https://mc.jscom.jp/form/material_jscproduct_revofinance

【調査概要】

調査名：金融機関のセキュリティ移行に関する実態調査

調査方法：インターネット調査

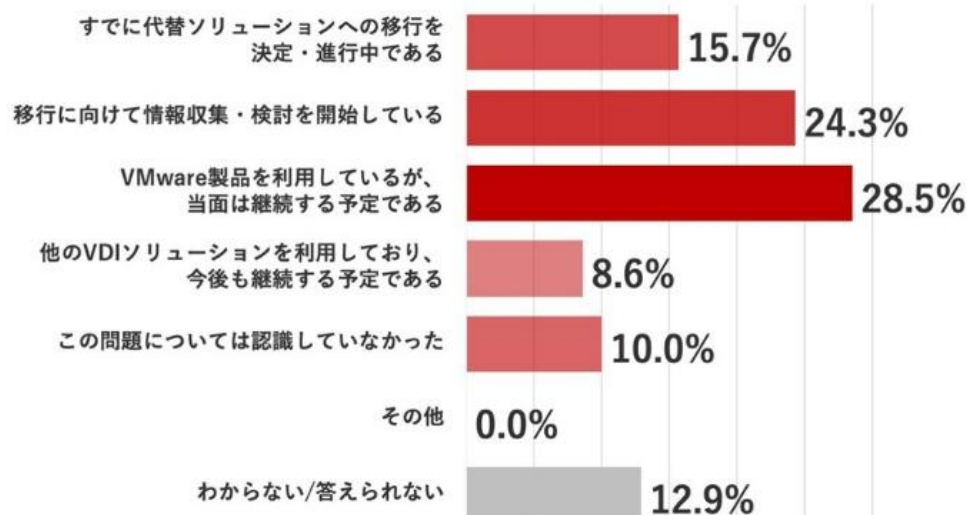
調査期間：2025 年 5 月 1 日～同年 5 月 15 日

有効回答：金融機関（従業員数：300 名以上）の情報システム・セキュリティ部門責任者・担当者 102 名

【調査結果詳細(抜粋)】

Q3

BroadcomによるVMwareの買収とライセンス改定を受けて、
今後のVDI戦略をどのように見直していますか。

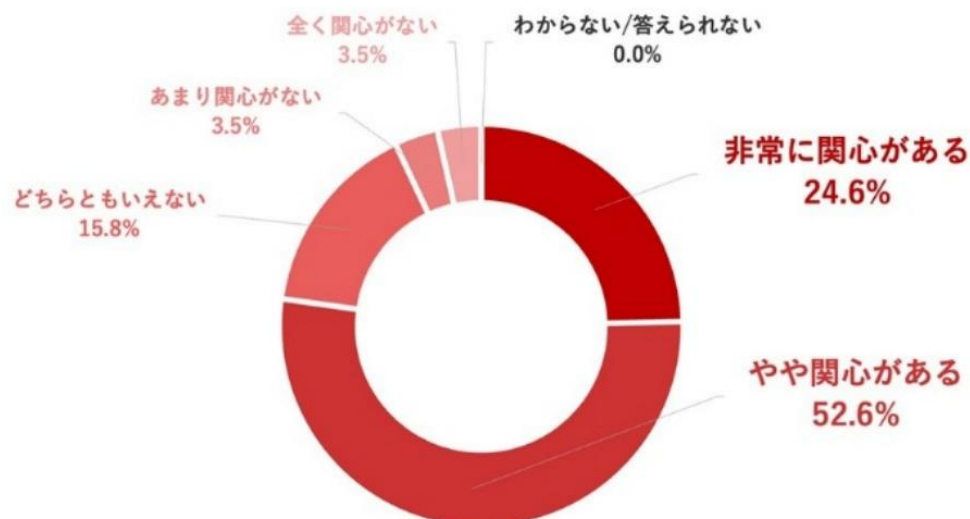


RevoWorks ZONE

ジェイズ・コミュニケーション株式会社
金融機関のセキュリティ移行に関する実態調査 | n=70

Q7

VDIの代替または補完としてセキュアブラウザ技術の導入に
関心はありますか。



RevoWorks ZONE

ジェイズ・コミュニケーション株式会社
金融機関のセキュリティ移行に関する実態調査 | n=57

Q10

**今後2年間で優先的に投資を検討しているセキュリティ対策は
どれですか。（複数回答）**

RevoWorks ZONE

ジェイズ・コミュニケーション株式会社
金融機関のセキュリティ移行に関する実態調査 | n=102**ジェイズ・コミュニケーションが提供する金融セキュリティソリューションについて**

ジェイズ・コミュニケーションは金融セキュリティソリューションとして、VDI 環境の課題を解決し、より強固なセキュリティ対策として次世代ゼロトラストブラウザ RevoWorks ZONE を提供しています。業務で利用するクラウドアクセスと一般的なインターネットアクセスを、当社独自のサンドボックス技術により論理的なゾーンとして分離することで安全なブラウジング環境を実現します。

【RevoWorks ZONE Web ページ】<https://revoworks.jp/zone/>**ジェイズ・コミュニケーションについて**

ネットワークセキュリティ、ネットワークインフラ技術に特化したセグエグループ株式会社の中核企業です。ネットワークセキュリティに係るディストリビューション事業、インテグレーション事業、サービス事業を展開しています。

【RevoWorks 製品に関するお問い合わせ先】

ジェイズ・コミュニケーション株式会社

RevoWorks ビジネスユニット

Mail : revo_pr@jscom.co.jp

※本資料に掲載されている会社名および商品またはサービスなどの名称は、各社の商標または登録商標です。